



ひまわり通信

株式会社ヨコレイ ひまわり発電所

皆様こんにちは、設計技術課のアゲナです。今年も残すところわずかとなりました。寒さも厳しくなってきましたので、体調には十分ご注意ください。それでは今年最後の、ひまわり通信にお付き合いください。

全国初 新築住宅への太陽光パネル設置義務条例が成立

東京都は、全国初となる新築一戸建て住宅への太陽光パネル設置を義務付ける環境確保条例改正案が12月15日の都議会本会議で可決、成立しました。これにより2025年4月から義務化が施行されます。この条例では、義務化の対象は住宅を購入する消費者ではなく、都内で住宅を供給する延べ床面積の合計が年間2万平方メートル以上の大手住宅メーカーで、延べ床面積2千平方メートル未満の新築の戸建て住宅などに、太陽光パネルの設置を義務付けるものです。1棟あたり2キロワットが基準量とされ、屋根面積20平方メートル未満の狭小住宅は対象から除外されます。今回の都の取り組みにより神奈川県川崎市も今後、義務化を目指す方針を示しており全国に広がる可能性もあります。



太陽光パネルの国内設置メーカー

現在、太陽光パネルの生産量は中国製品が世界をリードする形になっており、国内でも低圧産業用（特にメガソーラー等）は価格の安い中国製の太陽光パネルが採用されることが多いようです。一方、住宅用太陽光発電パネルについては国内製品がシェアを握っており、国内メーカーを推奨する大手ハウスメーカーが多いのが理由のようです。東京都の太陽光パネル設置義務条例の成立を受け、今後の動向が気になります。



○ 国内低圧産業用太陽光パネルトップ3

- 1位：ジンコソーラー 18%（中国）
- 2位：ロンジソーラー 13%（中国）
- 3位：JAソーラー 12%（中国）

○ 国内住宅用太陽光パネルトップ3

- 1位：パナソニック 13%（日本）
- 1位：京セラ 13%（日本）
- 2位：シャープ 12%（日本）

救缶鳥プロジェクト



当社が20014年3月から協賛している「救缶鳥プロジェクト」を紹介します。賞味期限3年の「パンの缶詰」を、半年から1年間の賞味期限を残して回収し、国内外の災害被災地、飢餓や食糧難問題を抱える国と地域に届けるというプロジェクトです。主催しているのは栃木県那須塩原市の株式会社パン・アキモトさんです。賞味期限が迫った備蓄食が、配られないまま廃棄されてしまった経験から考え出されたのがこの「救缶鳥プロジェクト」です。地震などの災害が多い日本では、企業や自治体、学校、そして個人の家庭でも、非常用の備蓄食を備える動きが広がっています。当社も社員全員の自宅と本社に「救缶鳥」を備蓄しています。回収時期になると案内が届きその後、宅配業者さんによって新しい缶詰が納入され、同時に被災者へ届けられる缶詰が回収されます。以前、パン・アキモトさんのインタビュー記事を読ませていただきましたが、そこには「人びとを救うために缶詰が鳥のように渡っていくという思いで名付けた」とありました。



菊池社員が優良現場代理人表彰を受賞しました。

11月16日(水)、ロイヤルホールヨコハマにて令和4年度横浜市建築保全公社表彰式が執り行われ、入社6年目の菊池亮介さんが、優良現場代理人表彰を受賞いたしました。工事にご協力いただきました皆さまに感謝申し上げますと共に、今後の菊池社員のますますの活躍を期待したいと思います。



☀️ヨコレイ太陽光発電 今月の実績☀️

(期間：11/2～12/1) ※ () 内は前月の実績

- 発電した電気量：556.5 kWh
(719.1 kWh)
- 東電への売電量：85.0 kWh
(148.0 kWh)
- 売電金額：3,145円
(5,476円)

■この期間の横浜市の天気概況 <気象庁HPより>

※ () 内は前月の実績

日照時間：164.3時間 (133.3時間)
平均気温：15.2℃ (17.9℃)

私たちが『ひまわり通信』を担当しています



アゲナ カサノ イノウ クロダ

(株)ヨコレイ 太陽光発電専門サイト

ひまわり発電所

ひまわり発電所

検索

☎️ 0120-37-4501

(受付時間 9:00～18:00 土日祝日を除く)

※送付停止をご希望の方は、ご連絡ください※